

水ぬるむ飛騨川の川べり、さわやかな初夏のかぜ、自然にいただかれて、白鳥たちは軽やかに泳いでいます。ここ福島地内にさる5月12.13日誕生した3羽の白鳥はその後元気に「悠々自適」の生活を続けています。

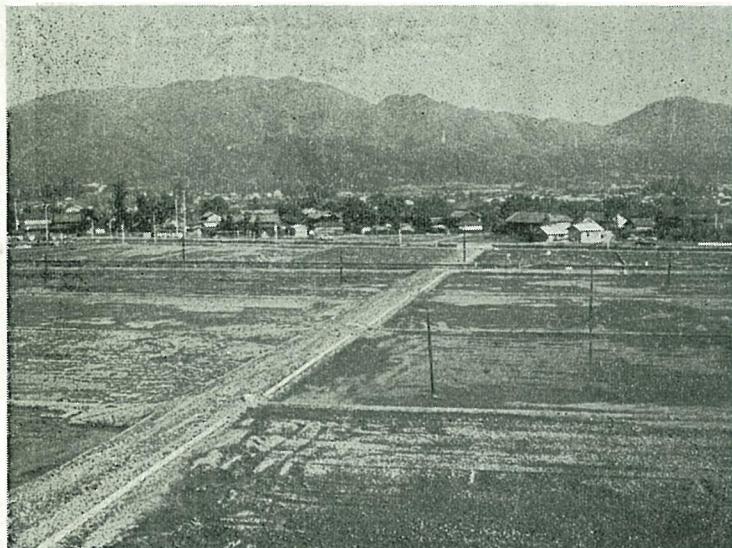


No. 50

おもな内容

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| ・ほ場整備実施後の営農指導を検討…… | 2 |
| ・住民福祉と町発展のために
総額4億9,609万円の町づくり…… | 3 |
| ・ことしの予算は
このように使われます…… | 4.5 |
| ・近代都市の形態を整備…… | 6 |
| ・国民年金保険料について…… | 7 |
| ・貯蓄と税金…… | 8 |
| ・歯の衛生週間始まる…… | 9 |
| ・おしらせ・おねがい…… | 10 |

みごとに整備された上川辺第1工区



昭和四十六年度より五ヵ年計画で発足したこの事業は、川辺町において農業開発史上、始めての大事業で、とくに事業実施後の営農面については、一大改革といわれ

る程のものであることはいうまであります。ほ場が大きく三〇アール区画となりますと田植にしても田起しにあるいは稻刈においても従来どおり

実施後の営農指導を検討

県営ほ場整備事業

機械化農業構想の実現へ

りの人手でやつていては、せっかく多額の費用を投じてこの事業を行なった価値がありません。従つて、ここで機械化ということが考えられます。すべての作業は機械作業ですませ、一日も早く農業外の仕事に専念するとか、農業経営の規模拡大の面、または各々の農家によって異なりますが、稻作または畑作の労力の軽減に資することが必然的な課題であり、取りあえず当面する問題の解決を図らねばなりません。

さて、機械化をする場合、いろいろなことが考えられ、請負方式とか協業方式など種々あるかと思われます。いづれにしても、始めての事でありますので、まず請負方式のことから今までの経過を照合しつつ説明しましょう。

請負でやるか、自分でやるかはあくまで個人が決める事であります。その取りまとめは部落でよく相談し、まとめてください。

しかし、一枚のほ場にところどころ個人でやられるものが中に入り込むと大型機械の操作が困難であり、そう簡単に決められない事

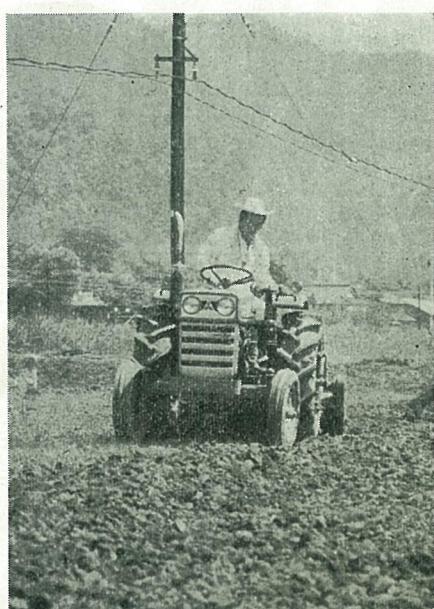
が問題点だと思います。あくまでも各工区の総意が必要となっています。

いづれにしても、せっかく機械化組合が設立されたので、じゅうぶんその辺のところを考慮し、理解されたうえで育苗、田植、代すればなりません。

川辺町機械化営農組合員
部落名 氏名
上川辺 (組合長) 武市義博
丹羽光男
石神 桜井利彦、桑田喜市
中川辺 (副組合長) 安田一市
橋本貞男、橋本福男
西柄井 山田信隆
下川辺 日下部武
鹿塙 若井靖彦、横田俊光
福島 横山多賀士
下吉田 武市昇、林礼二郎
比久見 高井弘治、高井広和
長場 求

ところで請負は、だれがしてくれるのだろうか。たいへん疑問のあることですが、このことについて、数年前からこの事業に伴い請負方式を予想し、機械の運転免許を取得していただきおり、その方々と話し合いのうえ、次のような組織体制を整えました。

なお、大型トラクター免許取得者で機械化営農組合に加入希望のある方は、ご遠慮なく組合長までお申し込みください。



近代的な設備が生産力上昇のキメ手になる

住民福祉と川辺町発展のために

総額4億9,609万円の町づくり

昭和四十七年度

施政方針のあらまし



方針を述べる
田原町長

■ 社会福祉対策の充実

急激な経済成長のうらに、最近とくに社会福祉の分野にも多様化した障害をもたらし、流動する諸問題を適切に処理し、住民福祉行政の推進を図るために、あたたかい福祉施策を積極的に進めなければなりません。

このような観点から、とくに人口の老年化とともに、老人福祉対策は、福祉行政の中心的課題であり、老人医療費の助成は、七十才以上の方に軽減措置を講ずることにしました。

また、乳幼児や一般住民における

当町は、中心に飛水郷を有し、自然の公園でもあり、その川を中心明るく住みよい町づくりとして漕艇をベースに、青少年健全育成を望むものであります。

多様化するこの社会において、

産業経済の伸びに、アンバランス精神的な荒廃が目立ち、先頭の連合赤軍等における戦りつすべき事件などがおきておりますが、このようなことは終局的に申せば、家庭教育の欠陥ではなかつたかと思われます。

そのために、本年度はとくに、学校教育はもとより、社会教育に重点をおき、青少年の心身ともに健全な成長を願うため、「山に緑川に緑、心に緑」を合言葉に、教養の高い住みよい社会の建設にまい進したいと存じます。

■ 道路の開発整備

道路網の整備による立地条件の改善は、町の開発をはかるうえにおいて最も重要な施策であり、明日の郷土の繁栄につながるものといえます。

町道の新設については、前年度引き続き、中川辺・西板井線を拡幅改築として新しく実施し、これ

る各検診や予防接種などの保健衛生対策、その他の一般福祉対策についても増額し、一層の推進を期しております。

■ 青少年の健全育成と教育施設整備

すぐれた知性とゆたかな心、強い体力をそなえた心身ともに健やかな青少年の育成は、町発展の基礎となるものです。

本年度はとくに、学校教育はもとより、社会教育に重点をおき、婦人教師、あるいはスポーツ教師制度など樹立させ、青少年の健全育成をはかる一方、教育施設においては、中学校のプール建設、各

国道四十一年線をはじめ、町内主要道路の改良は多くの恩恵をもたらした反面、交通量の増加と、運転者の不注意による痛ましい交通事故が多発しております。このような交通事故を防止するには、運転者のマナーの向上とともに、道路安全施設の整備促進が重要であり、ガードレール、カーブミラー、標識等の設定費やスクールゾーンの設定とともに学童通学の安全を期するための事業費などにあ

らの事業には積極的におし進めることにしました。他に軽ほそく、側溝工事十一ヵ所などの事業を計画し、快適な住民生活の確保をはかることにしました。

■ 産業基盤の整備

産業振興は、経済発展の第一要素であり、四十六年度より県営事業として発足した土地改良事業は順調に進んで、本年度は下麻生、上川辺工区で約十五ヶ所、石神、中川辺工区の十四ヶ所、福島、下飯田工区の十八ヶ所、合わせて四十七ヶ所が本年度の事業内容とされています。また、園芸團地育成事業、高能率桑園造成事業、共同育苗施設設置事業などの補助金にも充当、あるいは林業面においても林道の改良工事など、基幹産業とともにるべき農林業の振興については、慎重に対処していかなければならぬと考えます。

■ 交通安全対策

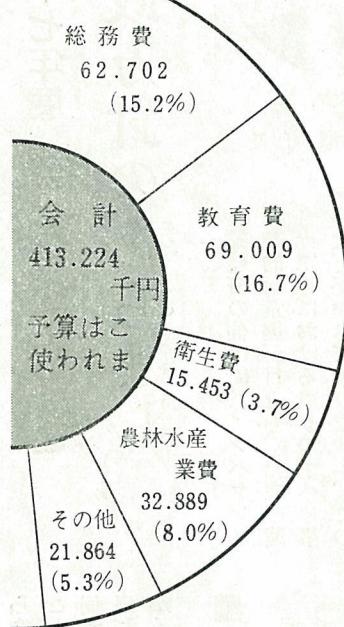
国道四十一年線をはじめ、町内主要道路の改良は多くの恩恵をもたらした反面、交通量の増加と、運転者の不注意による痛ましい交通事故が多発しております。このような交通事故を防止するには、運転者のマナーの向上とともに、道路安全施設の整備促進が重要であり、ガードレール、カーブミラー、標識等の設定費やスクールゾーンの設定とともに学童通学の安全を期するための事業費などにあ

小中学校の教材の購入及び施設設備など一層の強化をはかり、良好な教育環境の造成と教育内容の充実に積極的に対処することにしました。

どのように使われます

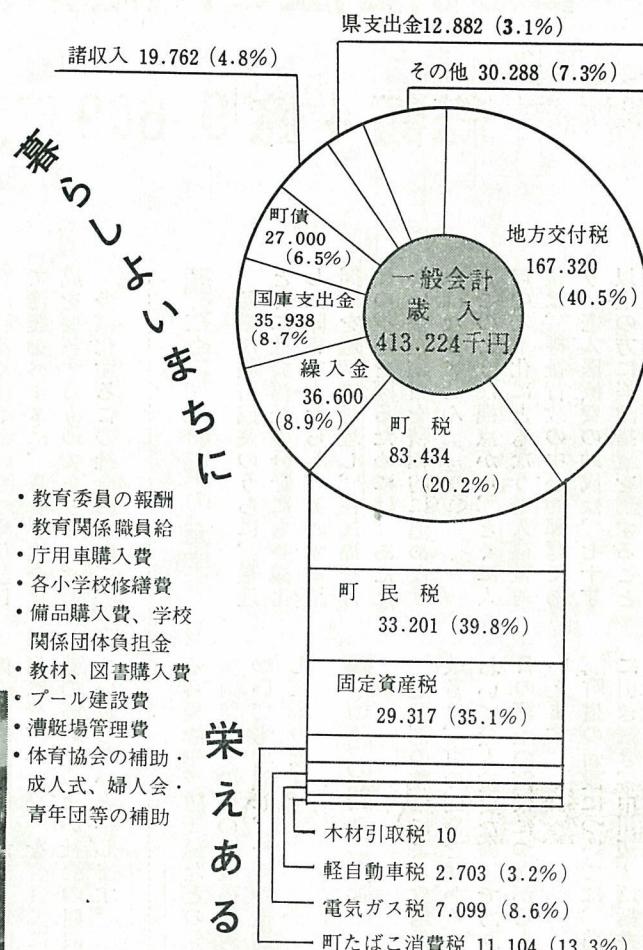


- 三役、総務、税務、企画、戸籍関係職員給事務備品購入費
- 広報活動、財政、会計、財産管理費など
- ガードレール、カーブミラー、街路照明灯など取付工事費、その他交通安全対策費
- 選挙管理委員会費、農業委員選挙費
- 統計調査費
- 監査委員報酬など



- ▲議会費 10,648 (2.6%)
・議員の報酬、議会活動に要する費用など
- ▲商工費 1,513 (0.4%)
・商工会補助金 (1,200) 観光事業費など
- ▲災害復旧費 1,703 (0.4%)
- ▲予備費 8,000 (1.9%)

たま
まち
くら
し



予算財政ということば

私たちは、日ごろ「財政」や予算ということばを、しばしば目や耳にします。何となくとっつきにくいことのように思われるがちですが、これは町民のみなさんにとって非常に重要なことなのです。

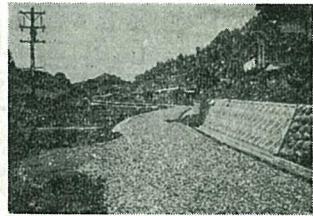
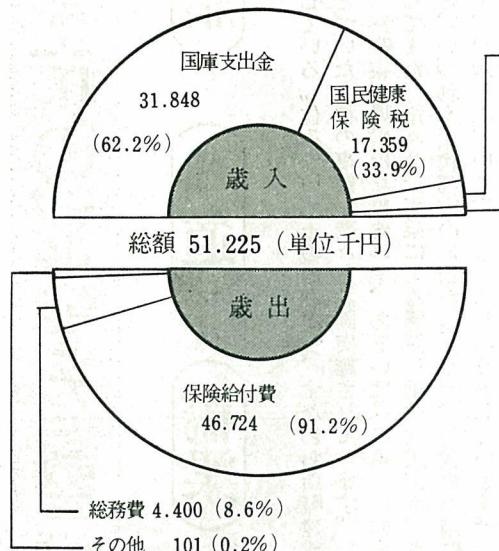
私たちの家庭には、生活のための家計があります。また会社には会計があるように、国や地方公共団体（都道府県や市町村）にあるのが予算であり、この予算を中心とした国や地方公共団体の活動を、一般的に「財政」と呼んでいます。

まち
いき
らしく
くら
し

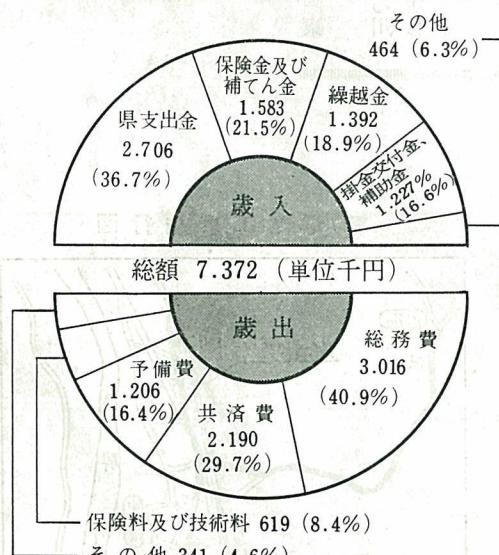
正
しく
ま
ち
く
ら
し

ことしの予算は、この

国保特別会計

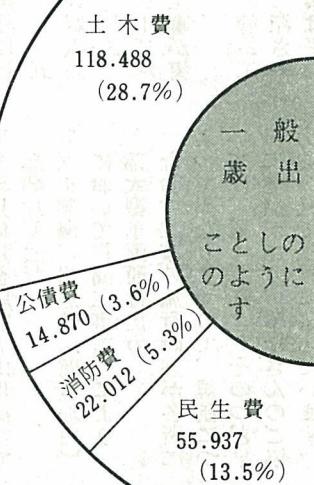


農業共済特別会計



- 土木関係職員給・可茂土木協会負担金
- オバレー町内全般、路肩側溝補修
- 中川辺、西柄井線工事費
- 町道新設改良工事費
- 軽ほそう新設工事費
- 側溝工事11ヶ所
- 下吉田線、
- 県単道路改良工事負担金
- 天徳橋梁替工事費
- 河川関係団体負担金など
- 都市下水路工事費
- 町営住宅管理費

・学校・住宅など建設事業債、災害債に対する元利償還金



- 消防団員の報酬
- ホース・防火衣、ヘルメットの購入費
- 消防積載車、小型動力ポンプの購入費
- 防火水槽の設置
- 消防協会負担金
- その他自動車の燃料、修繕費、保険料など

学校給食共同調理場特別会計

歳入	歳出
事業収入	21,265
事業費	21,278
諸収入	3
繰越金	10
計	21,278
計	21,278

水道事業特別会計

歳入	歳出
企業債	1,000
建設改良費	3,000
出資金	2,000
計	3,000
計	3,000

近代都市の形態を整備

電話

水道

橋梁

一万町民が待望している“住みよい郷土の設計書”、すなはち新町建設事業は、町内東西に設計書にもとづいた各種の事業が続々と計画実施されています。道路の新設、下水路事業、県営ほ場整備事業、あるいは県の橋梁整備公共事業である川辺大橋の建設、そしてまた、電々公社事業による電話自動化改式工事、さらに加えて新しく県営上水道事業と、いづれも近代都市の形態を整えつつ、時代の要請にあつた新しい町発展の基礎となつて、川辺町は、いまや大きく変わろうとしています。そこで、きょうは電話、水道、橋梁の各事業について工事内容など簡単にお知らせします。

電話自動化工事始まる

町内各所で交通規制

電話自動化の促進については、今まで広報等を通してお知らせしてきましたが、このほど事業内容もまとまり、いよいよ工事開始の運びとなりました。

信工事と長期間において総工費三億七千万円をかけて、マンホール四十一ヵ所新設、電柱（コン柱、木柱）千二百六十六本を新設し七百四十六本撤去、架空ケーブル五十七キロ^{メートル}新設し十七キロ^{メートル}撤去地下管路四・九二キロ^{メートル}新設、〇・八キロ^{メートル}撤去、地下ケーブル

の急激な電話需要の伸びにこたえるため、川辺電話交換局区域内の全域にわたって大がかりな電話線路の増設及び取替工事を行ない、自動化をはかるものです。

この工事は五月中旬より十一月中旬まで土木施設工事、引きつづいて七月から来年二月まで電気通信工事は各所で行なわれ、管路工事は平均で巾〇・八五メートル、深さ一メートル、マンホール工事は平均巾二・九メートル、深さ二・三五メートルあり

工事が行なわれるところは大巾な交通規制が実施されますが、主なところはだいたい次のように予定されています。

▽中川辺本町通り（多治見信用金庫前）～加納光電社、風間片側通行

▽加納光電社前～国道41号交差点まで通行止め

▽多治見信用金庫前～山川橋まで

▽風間片側通行

▽県道美濃、川辺線（鹿塙地内）において夜間工事施行により一部大型車両通行止め

なお、工事の施行時期が各所によって異なりますので、規制については、電々公社よりそのつど早目に連絡があり、みなさんのご協力を公社では特に望んでいます。

○事業費は三十三億円

この計画は、昭和六十年の給水人口、九一、一二〇〇名を目標に総事業費約三十三億円を投入し、美

目標は“五十一年給水”

用水建設

四年継続事業で建設

上水道の建設は、昭和四十七年度から五十一年度にわたる、四カ年継続事業として、五十一年全面

給水を目標にいよいよ実施の運びとなりました。

この計画は、現在建設が進められている木曽川右岸総合用水事業による幹線導水路の水を浄化し、

みなさんの家庭へ給水するための事業で、すでに全工事の設計もほぼでき上り、いま上水道特別委員で設計内容の最終的な検討を急いでいます。

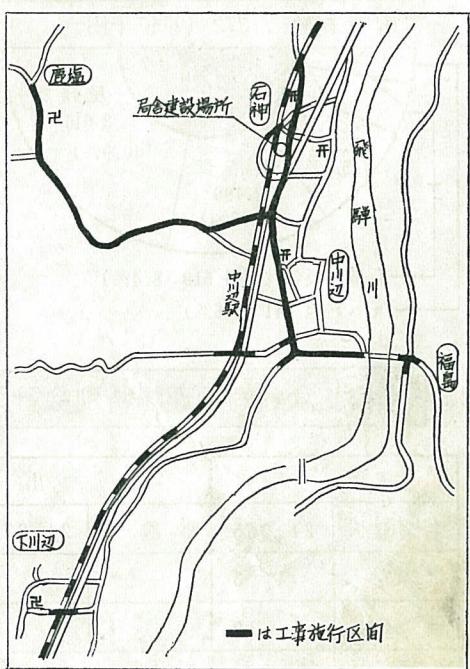
○給水目標は五十一年度

建設目標年次は、昭和四十九年度に一部給水（美濃加茂市、川辺町）し、昭和五十一年度より、全

域給水が予定されています。

なお、この事業の具体的な計画などについては、今後追ってお知らせいたします。きれいで豊富な

▼電話工事施工図



水をお届けし、公衆衛生の向上と生活環境の改善に努めるべく、本事業の推進にあたってはみなさん

方のご協力をよろしくお願ひいたします。

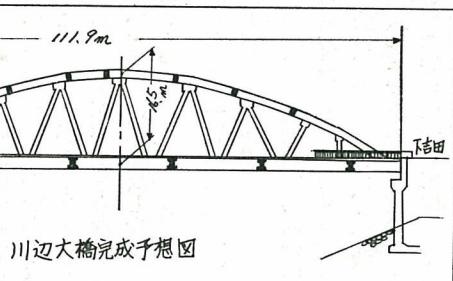
建設進む川辺大橋

完成は十二月下旬に

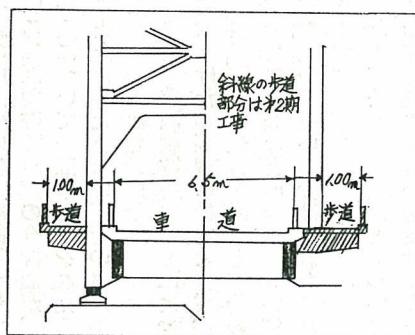
県の橋梁整備公共事業として、昭和四十五年四月より、総工費一億七千万円を投じて始まつた川辺大橋の建設は、ことし十二月の竣工をめざして、いま急ピッチで進められています。

建設されるこの橋は、上川辺、下吉田間の飛騨川にかけられ、すでに橋桁は工場（富山县、川田工業）において製作され、六月より運搬架設が開始されます。

トラスドランガーブリッジという構造型式で、全長一一一・九尺、巾員六・五尺で両側に一・〇筋巾の歩道がつけられ、また、四基の照明灯と、電話線、上下水管も合わせて架設設置されます。完成の暁には、県道七宗、可児を結ぶ重要路線として、地域開発の面などに、大きな期待が寄せられています。



川辺大橋完成予想図



四十七年度
交通ママさん決まる

さる五月二十二日、艇庫二階において交通ママさん委嘱式が行なわれました。激増する交通量にともない、子供やお年寄りたちを家庭において

国民年金保険料

国民年金の掛け金は、ことしの七月分から一ヶ月五百五十円に引き上げられます。

みなさん、ご承知のように国民年金は昭和四十四年に大巾改正が行なわれ、老齢年金は当初の二万四千円が九万六千円（所

得比例制度に加入した場合には十五万円）に引き上げられています。

さて、それではこれに見合う財源をどうするか、みなさんといっしょに考えてみましょう。九万六千円の老齢年金を支給するためには、一ヶ月一千二百九十九円の掛け金が必要とされています。もちろん、この金額をみなさんに負担していただくなれば、国もそれ相応の負担はしますが、

特例納付は今月限り

あるわけです。

保険料には時効があつて一年以上のは、すでに時効になつていませんが、六月末日までに限つて特別に時効になつた分も納めることができます。時効保険料の納付額は、一ヶ月につき四百五十円です。この機会は、老齢年金を受ける権利を確保する最後のチャンスです。忘れずに納めましょう。

くわしいことは、役場住民課でおたずねください。

七月から五百五十円に

それでも昭和四十四年の改正時点

で、すでに月八百六十円の掛け金が必要とされていました。現在の月四百五十円の掛け金は、そのおよそ半分ということになります。

このように、年金額の大巾引き上げを行なうためにも、ある程度の掛け金は負担していただけなければなりません。

七月分からの掛け金に、納め違いないように、ご注意ください。そこで、昭和四十五年の七月から一ヶ月四百五十円に、昭和四十七年の七月からは一ヶ月五百五十円というように、段階的に引き上げが行なわれます。

国民年金の老齢年金を受けたためには、通常二十五年の保険料納付（または免除）期間が必要ですが、昭和五年四月一日以前に生まれた方については、この二十五年が二十四年から十年に短縮されています。加入しなかつたり、納め忘れがあつたりして、六十歳までに右の期間がないと老齢年金が受けられないことになります。

そこで、これらの方は過去の保険料をさかのぼって納める必要があるわけですね。

交通事故を指導し、悲惨な交通事故から身を守ろうというもので、四十七年度交通ママさんは次の二十九名の方々が委嘱されました。（敬称略、順不同）

加藤弥寿子、栗山米子、村瀬百合子、佐伯みつゑ、山田たけよ、井戸清子、平岡美枝子、加藤たね、鈴木奈津美、井戸せい子

山田貞子、渡辺すゑ、後藤みづ江、古田笑美子、鈴木米子、所美代子、井上光子、山田操、井戸和子、岡本美和子、日下部ちず子、西村よし子、村山岸枝、桑畑喜代子、金沢久子、馬場すて子、木沢喜代子、村瀬小夜子、加藤いづ子

よい歯でよくかみよいからだ

—歯の衛生週間始まる—

6月 4日～10日

国民の健康の保持、増進に寄与することを目的としているものであります。

本年の重点目標は、「食後の歯口清掃の徹底」であつて、標語は「よい歯でよくかみ、よいからだ」となっています。

歯口清掃については、古くから国民の間に普及され、よく知られていますが、その効果は現状において、必ずしも十分とはいえない状況にあり、この週間に正しい歯口清掃法である食後の歯口清掃を取りあげ、日常生活の場を通して國民生活を豊かなものにしようと、いろいろな有効手段を用いるための活動をいつそう活発にするための手がかりにしようというものです。

歯口清掃ということ

歯口清掃は、歯や口を清潔に保つことによって、歯科保健上の目的を果たすとともに、それによつて國民生活を豊かなものにしようと、いろいろな有効手段を用いているのです。歯科保健上の直接のねらいはなんといっても、ムシ歯および歯周疾患の予防抑制であり、そのためには、歯口清掃とともに他のいろいろな有効手段を用いることが大切であることは、いうまでもありません。

ムシ歯を防ぐには

この週間は、厚生省、文部省および日本歯科医師会が主催し、関係機関、団体と協力のもとに、歯の衛生に関する正しい知識を普及するとともに、歯科疾患の早期発見、早期治療、さらにその予防処置の励行を徹底することにより、

ムシ歯は超特急でやつてきます。ムシ歯を防ぐには



歯の日
(六月四日)

- ・ムシ歯の予防のため、フッ化物の歯面塗布を受けましょう。
- ・バランスのとれた食事をとるようになしましょう。
- ・定期的に口腔診査と保健指導を受けましょう。

気は二十代までジワジワと増えています。三十才をすぎると五十%以上が歯グキの病氣におかされています。これが先の調査で明らかにされています。

ムシ歯を防ぐために、次のことがからをよく守り、健康な歯の保持につとめましょう。

- ・食後は必ず正しいルールで歯をきれいにしましょう。
- ・定期的に口腔診査と保健指導を受けましょう。

・ムシ歯は、早期治療に心がけましょう。

歯を大切に育てましょう

子供のおやつは、成長のため必要です。お子さんは食事のあとばかりでなく、おやつのあとも、うかりでなく、おやつのあとも、うがい、歯みがきの習慣をつけ、特に小さいお子さんには、お母さん

が一緒に手をとつてみがいてあげましょう。

■ムシ歯になりにくいおやつ
ミカン、リンゴ、ブドウ、牛乳
クラッカー、センペイなど。

■ムシ歯になりやすいおやつ
イチジク、サツマイモ、キャラメル、チョコレート、ショートケーキなど。

梅雨時の食事づくりについて



- 1、卵、肉、牛乳、海草をより多く取りたいものです。
- 2、新鮮な食品を選ぶ
- 3、買い物じょうずな主婦こそ、家族の健康管理者として合格です。目で確かめて買うこと、そのため食品を見る目を日常、

1、栄養のバランスを考える
そこで、次の三つのポイントを六月の楽しい食事の雰囲気を作りだすのは、母親の上手な食事づくりからといえます。

1、栄養のバランスを考える
そこで、次の三つのポイントを六月の楽しい食事の雰囲気を作りだすのは、母親の上手な食事づくりとです。特に家庭で不足しがち

胃腸をこわしやすい時期には大切なことです。「あぶない橋は渡らない」ことが、じょうずな食事づくりの秘訣です。
以上、三つのポイントは、きっと夏に備えての体づくりの基礎をつくってくれるでしょう。

川辺町下麻生、西村卓郎さん(55歳)は、さる四月六日昭和四十七年度、岐阜県交通安全功労者個人の部でその表彰を受賞されました。

西村さんは、職域に交通安全を立し、交通安全に効果をあげられました。



交通安全功労章 を受賞

一下麻生の西村さん

また交通安全施設の整備、交通環境の整理清掃などに協力し、交通事故防止に効果をあげられた、その功績は他の模範であることが認められ、県警察本部長、県交通安全協会より栄誉をたたえられたものです。

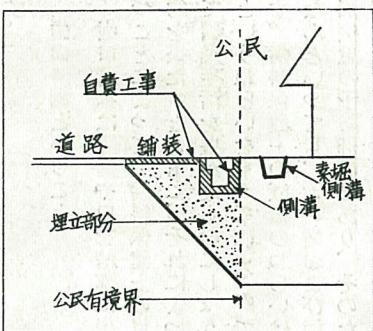
最近、田畠を埋めたて道路に面して宅地造成をされる事例が増加しております。こういう宅地造成は雨水等が道路に流れ、道路を損傷する原因になつております。また公有、民有地の境界が不明確なところが多くなっています。

農地法第四条または第五条の許可を受けて田畠を埋め立て、さら

- 道路側の
- 宅地造成について

め関連して道路敷ののりめんを埋め立てようとする場合には道路管理者の許可が必要ですから、必ず事前に所轄土木事務所、または町土木課の指示を受けてください。

なお、図で示すように自費工事を行なう場合は、素堀側溝を必ず作ってください。



- 老人医療費について
- 七十才以上のみなさんが、先に送付した老人医療費受給資格届の未提出の方、老人医療証の交付を受けない方、また医者にかかる未持つた人で、医療費交付申請書をもとに持つていては役場住民課で早目に提出、手続きをませてください。

- 不燃物の収集について

第三回目の不燃物(ガラス類、鉄クズ類)収集を次のとおり行ないますから、よろしくお願いします。

◆六月二十六日(月)
地区名 収集場所
福島・下飯 福島神社前、住宅横
田地区 山田光男宅前広場、

◆六月二十七日(火)
地区名 収集場所
中川辺地区 町焼却場、太部古神
館前、白山神社横
川橋元(道家商店前)

上川辺地区 下麻生駅前広場、かやの木前、鶴飼公民館
下吉田地区 初夫宅前、四部落公
通宅前、稻葉神社前
龜井康雄宅横、佐藤重通宅前広場、井戸民館前、稻葉神社前
桑之木観音前、長瀬晃住裏広場
下川辺地区 八幡神社前、下川辺公民館、広林寺横内森国道広場
鹿塩地区 中竹之腰つじ
鹿塩農協支所前、山

- な、不燃物を出荷される方は次の事項を必ずお守りください。
- 一、ガラス類と鉄クズ類は別々の袋(肥料、館料の袋)に入れ口をよく閉じて縄をかけ、積み込みやすいようにし、エフ又は直接出荷者の氏名を記入してください。
- 二、収集場所へ出して戴くのは収集日の前日に出してください。
- 三、プラスチック類、もえるものなどは絶対に出さないようお願いします。

